

令和 6(2024) 年度 第 6 回 大和田小学校 学校運営協議会 議事抄録	
開催日時	令和 7 年 1 月 17 日(金)16 時～17 時 15 分
開催場所	図書室
主要議題	・学校の状況 ・令和7年度教育過程 ・大和田っ子ガーデン・農園活動について
次回日程	第 7 回学校運営協議会: 2025 年 3 月 12 日(水) 図書室

1. 前回議事録確認

前回議事録の確認を行った。

2. 学校の状況

- ・本校が東京都健康作りの代表校となった、1月15日に東京都教育委員会から表彰を受けた。個人表彰が中心で、学校は東京都で2校だけだった。
- ・参考配布のチラシは、プロバスケットボールチーム八王子ビー・トレインズの試合への無料招待。八王子市が児童・家族向けに推しているもので、会場はエスフォルタアリーナ。
- ・学校環境整備について、竹藪があまりにひどかったので八王子市と用務員に刈ってもらった。また桜の木があまりにも徒長し過ぎたので、とりあえず1本の剪定を予定。(伐採は費用が数十万と高額。)
- ・囲碁教室(学運協扱い)講師の方より学校に、体調不良で引退の申し入れがあり、教室は終了となった。

3. 教育課程について

市教委に提出する次年度教育課程の要点について、「1 教育目標」は表現の調整程度で基本的には前年踏襲、「2 指導の重点」における、教委の要請を踏まえた下記変更(下線部)が特に重要なポイント。

☆ 2の「(1) 各教科等」「ア 各教科(外国語活動を含む)」に⑦を追加

⑦義務教育9年間を見通し、高学年における教科担任制を進めていく。組織的に生活指導を行うことでより児童理解を深めたり、教師の専門性を活かし、授業力向上の推進を図ったりする。

[補足]市教委方針である令和8年度からの教科担任制の導入の、事前試行を進める意図(高学年=5・6年)。試行実施に当たっては、期間限定で、教師の担当時間の均衡を図りながら対応する。

☆ 2の「(5) 生活指導」「ア 生活指導」に③の記載を変更

③児童が性犯罪・性暴力の加害者、被害者、傍観者にならないための「八王子市教育委員会『生命(いのち)の安全教育』等の活用を基に、年間指導計画を作成し発達段階に応じた指導を行う。

4. 来年度の行事予定の要点

- ・1学期始業式 4/7(月)、入学式 4/8(火)：従来同日だったのを市教委の要請で分離
- ・運動会 5/24(土)、引き渡し訓練は「早い方が良い」との声に応じて 6/14(土)学校公開の日に設定

5. 大和田っ子ガーデン・農園活動について

今年度は「ねばならない」から、真に自発的な楽しめる活動に切り替えをはかって来た。まだまだ取り組み始めたばかりで過渡期だが、学校の土地を提供して楽しんで貰って、それが学校にも役立ったり、自発的な巻き込みを生むという姿を目指している。

- ・「自発的」「土地を提供して楽しんでもらう」などの趣旨について意見交換があった。無管理になったり、特定の団体が支配的に関わるようなことにならないための注意はもちろん、そのような誤解を受けないことも重要なので、学運協や学校に基づくコーディネータは必要、という認識が共有された。

6. その他情報交換(委員の発言)

☆ 寒くなると、はちビバ(旧児童館)の来館者数は減るが、その分濃密なコミュニケーションが生まれる。

☆ 不登校に関する各種情報や意見交換:

- ・中学校で、不登校児対策のための「別室」に通う生徒が増え過ぎて、困るほどらしい(年少対情報)。
- ・他小学校での事例でも、ソーシャルルームが勉強したくない児童が群れる状況を生むケースもあって悩ましい様子。パーティションで児童を分離する取り組みも試みられている。
- ・はちビバから定期的に学校に行っている。その際、はちビバメンバーに会いに来る子もいる。不登校児が、はちビバ通いを経て少し登校できるようになった例もある。
- ・不登校について、保護者向けの啓発指導については何かできないか? → PTA で保護者の情報交換の場を作るような取り組みの可能性(例えば PTA 会議室の有効利用=井戸端会議とか)を今後検討したい。
- ・いろいろな場があっても、その存在が知られていないケースも多い。これを広める方法は無いかな?

☆冒険学校:関係団体がコロナで消滅したり、スタッフの高齢化で活動維持が困難となり NPO を解散する予定。

- ・後継活動は模索中だが、次年度のバリアフリー運動会実施は難しくなりそう。

以上